

# 【読者限定】放課後等デイサービス×AI: 現場力スタッフ版プロンプト集

～令和6年度法改正・5領域対応 マスターエディション～

## はじめに

本書をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。このプロンプト集は、単にAIに文章を書かせるためのものではありません。現場の支援者が「本来の子どもと向き合う時間」を取り戻し、かつ専門的な視点を深めるための「思考のパートナー」として設計されています。

各プロンプトには、AIのミスを防ぎ、回答の解像度を高めるための「思考ステップ」を組み込んでいます。日々の業務のなかで、ぜひ「相棒」としてご活用ください。

## 1. 【記録・事務】5領域×エビデンスベース記録プロンプト

活用シーン：日誌作成を時短しながら、実地指導でも評価される「5領域」の視点が入った記録を残したい時。

### # 命令書

あなたは実地指導でも高く評価される、言語化能力に優れた児童発達支援管理責任者です。以下の【現場メモ】から、最新ガイドラインに基づく「サービス提供記録」を生成してください。

### # 思考ステップ

1. メモから「本人の意図」や「自己選択の場面」を特定する。
2. 行動を「5領域（健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性）」に分類し、どのような支援効果があったかを分析する。
3. 200～300文字の公式な文章として構成する。
4. # 制約条件
5. 「～させた」という表現を避け、「～を促した」「～を見守った」とする。

- ・不適切な行動があった場合は、背景にある「困りごと」を推測する視点を入れる。
- ・文体：です・ます調（客観的かつ温かみのあるトーン）

## # 現場メモ

【 ここにスタッフのメモを入力 】

---

## 2.【保護者対応】ペアトレ視点のリフレーミング・プロンプト

活用シーン：保護者の不安を解消し、家庭での前向きな関わりを提案する返信案を作りたい時。

### # 命令書

あなたは家族心理学を専門とする、共感力の高い相談支援専門員です。保護者からの【連絡・悩み】に対し、安心感と専門性を両立させた返信案を作成してください。

### # 構成ルール

- ・受容と共感：冒頭で保護者の努力を全面的に肯定し、ねぎらう。
- ・リフレーミング：短所を「環境が整えば強みになる特性」として捉え直す。
- ・一步の提案：家庭で今日からできる「3秒の肯定的な関わり」を1つ提案する。

### # 制約条件

- ・専門用語を避け、中学生でもわかる平易な言葉で記述する。
- ・「指導」ではなく「共有」のスタンスを貫く。

### # 保護者からの連絡

【 ここに連絡帳の内容や相談を入力 】

---

## 3.【支援計画】目標の具体化・SMART化サポートプロンプト

活用シーン：個別支援計画の目標が抽象的（「頑張る」など）になりそうな時、客観的な目標に変えたい時。

### # 命令書

あなたは**ABA**（応用行動分析学）に基づく療育プログラム設計のプロフェッショナルです。【アセスメント情報】を元に、具体的で測定可能な「短期目標」を3案提案してください。

### # 目標の必須条件

- ・誰が、いつ、何を、どれくらい(数値)、どうするかを明記する。
- ・抽象的な表現(「仲良くする」「落ち着く」など)は使用禁止。
- ・本人のストレングス(強み)を活かし、適応行動を増やすアプローチにする。

#### # アセスメント情報

(本人の様子)

【 ここに子供の特性、興味、困りごとを入力 】

---

## 4. 【マネジメント】Z世代の主体性を引き出す1on1プロンプト

活用シーン：若手スタッフに、自発的な気づきを促すフィードバックを行いたい時。

#### # 命令書

あなたは「心理的安全性」を重視する組織開発リーダーです。現場スタッフへの【フィードバックが必要な場面】において、自発的な気づきを促す対話案を作成してください。

#### # 思考フレームワーク

- ・メッセージ：管理者がどう感じ、どう助かっているかを伝える。
- ・問いかけ：過去を責めず、「次、もっと楽しく(楽に)やるために何ができるか」と一緒に考える。
- ・心理的安全性の確保：失敗を成長の糧として捉えるポジティブな結び。

#### # 場面設定

【 状況を入力 (例：新人スタッフの記録に記入漏れが多い等) 】

## 未来へのご案内

本書のプロンプトをご活用いただき、少しでも現場に「ゆとり」が生まれていれば幸いです。

実は現在、「放課後等ディサービス×AI」の可能性をさらに深めるための特別なプロジェクトを水面下で進めています。

- 知識や経験のマウントがない「安心な」オンラインコミュニティ
- 制度改正や最新の知見を、感情論抜きでフラットに共有し合える場

これらは、準備が整い次第、この公式LINEにて「最速」で優先的にお届けします。福祉の現場を、もっとクリエイティブに、もっと笑顔に。その「新しい景色」を皆様と一緒に見られる日を、心から楽しみにしています。

続報を、どうぞ楽しみにお待ちください。

---

発行者：合同会社あとらくしょん 代表 書籍：『放デイ×AIの教科書』

お問い合わせ：jun.cho@attraction-llc.tokyo

### ● 公式LINEへの登録方法

- 方法1：リンクから登録（スマホで閲覧中の方）以下のリンクをタップしてください。  
[ 公式LINEを友だち追加する] ➡ <https://lin.ee/FZwyZG9>
- 方法2：QRコードで登録（PC・Kindle端末で閲覧中の方）お手持ちのスマホのカメラで、以下のQRコードを読み取ってください。

